

生物多様性なら戦略

～豊かな自然環境を未来の子どもたちに～



平成25年3月

奈良県

豊かな自然環境を未来の子どもたちに



奈良県は全国的に見ても豊かな自然環境に恵まれており、多種多様な生きものが生息・生育しています。本県にゆかりのある万葉集には約190種類の動植物が詠まれており、古代から人々は生きものたちに詩情を感じ、豊かな文化をつくり出してきたということをうかがい知ることができます。

名前も知らない動植物がいなくなったとしても、私たちのくらしには影響がないように感じるかもしれません。しかし、私たちは農作物や魚介類などを食料として利用したり、多種多様な遺伝子を医療や科学の進歩のために活用しています。また、春日山原始林や法隆寺周辺の田園地帯、おおみねおくがけみち大峯奥駈道のある山岳地帯、これらの自然環境が失われてしまえば、私たちが誇る文化の大きな損失となるのではないのでしょうか。

多様で豊かな自然環境を未来の子どもたちに引き継いでいくことは、私たちの責務です。県民の皆さまに、この戦略の理念を共有して頂き、なお一層自然が豊かでくらしやすい奈良県となるよう行動していきたいと思います。

平成25年3月

奈良県知事 荒井正吾